



11号に引き続き、国際語科2学年夏期研修の特集です。暑い中、各所で充実したフィールドワークが行われました。



イスラムを学ぶ(7月29日) 日本には多くのイスラム教徒の方々が住んでいます。イスラム教についての正しい理解を得るため、また世界の平和を考えるフィールドワークでした。



ジャーメ・マスジド（横浜モスク）で。まずはインド料理を食べて、食から異文化理解！ ナンが大きい！



続いて「川崎市平和館」を訪ねました。職員の方に館内を案内していただくだけでなく、平和とは何か考えさせられる問いかけをしていただきました。



綱島にあるAGM TRADING（ハラルフードストア）を見学。店長のアザームさんがみんなにマンゴージュースをくださいました。濃厚で美味！



仲町台にある「ジャーメ・マスジド」（横浜モスク）でイスラムの教えについてレクチャーを受けました。イスラム教がいかに平和の宗教であるか、お話しいただきました。その後、お祈りをしている方々の後ろで見学させていただきました。



中南米を学ぶ(7月30日) このフィールドワークは、国際協力という視点から、午前中は日本赤十字社神奈川県支部を見学し、国内外の緊急支援について学びました。午後からはなか区国際交流ラウンジに移動し、NGO団体の「ハイチの会セスラ」の方々から中南米の歴史や団体の活動などについて、画像を見ながら学びました。



赤十字では紹介ビデオを観た後、情報コーナーで説明をうかがいました。メモを取って！

緊急支援物資などが沢山！



赤十字のジャケットを着て！ 赤十字の中でお弁当を食べました。高岡さん（ハイチの会セスラ代表）のお話。



2003年3月高岡さん（代表）、吉行さんはハイチを訪問した際、通訳と案内をしてくれたハイチ人の山田カリンさんとともに、彼女の姉が設立したセスラ校を訪問しました。セスラの子どもたちと献身的な教育者マリクレールさんに出会い、ハイチには何よりも教育が大切！セスラを支えようという思いから2004年6月、ハイチの会・セスラ設立に至りました。以来、このNGOは学校が資金難のため閉鎖に追い込まれることのないように、学校支援を活動の中心にしてきました。ハイチ地震の際には国際語科も山田カリンさんを本校に招き、セスラ校への募金活動も行いました。（<http://www.haitinokai-cesla.com/> を参考にさせていただきました）